

## 高齢者における離床の到達度とせん妄の持続期間に関する研究

### 1. 研究の対象

2020年4月1日～2023年3月31日に当院の集中治療室で治療を受けられた70歳以上の方

### 2. 研究目的・方法

#### 1) 研究目的

現在ICUに入室される患者様における「せん妄の予防」が着目されています。せん妄とは、体に何らかの負担がかかった時に生じる脳の機能の乱れであり、一時的に意識が混乱することです。せん妄の誘発因子には緊急入院、発熱、疼痛などの身体的要因、鎮静下による治療などがあるため、ICUに入室する患者のせん妄発症率は最大で60.9%にも上るといわれています。さらに、70歳以上の方は認知機能障害、視覚障害、併存疾患の多さなどにより、せん妄の発症率が若年者に比べて高いと報告されています。

ICUに入室した患者様のせん妄対策の方法の一つとして早期からの離床が提唱されています。離床とは、ベッド上での運動や座ったり立ったりするリハビリテーションのことであり、当院のICUでは理学療法士と協力して積極的に早期からの離床を導入しています。

本研究では、ICUに入室した70歳以上の患者様の離床の到達度がせん妄の持続期間に影響を与えるかを調べることで、ICUにおけるケアの改善や科学的根拠(エビデンス)を構築したいと考えております。

#### 2) 研究の方法

研究対象者は、2020年4月1日～2023年3月31日までに、当院の集中治療室で治療を受けられた70歳以上の患者様100名で、具体的にはICUに1週間以上入室していた方です。研究期間は、研究機関の長の研究実施許可後から2024年3月31日です。患者様の入院中の診療記録を閲覧し、せん妄の持続期間と離床の到達度に関連するデータを研究に活用させていただきます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

#### 1) 患者基本情報:

年齢、性別、入院前の生活状況、ICUでの診断名、診療科、手術の有無など

#### 2) せん妄のリスク因子に関する情報:

せん妄の有無、痛みのレベル、鎮静剤使用の有無、睡眠状況など

3) 離床の到達度に関する情報:

ICU 離床プログラム実施率、ICU 活動度スケールなど

#### 4. 利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日(2023年10月18日)とさせていただきます。

#### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が本研究に用いられることについて患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しません。拒否の申し出は、データの分析を開始するため、2023年12月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先ならびに研究責任者:

秋田大学医学部附属病院 集中治療部 2 看護師 吉田 菜邑

〒010-8543 秋田県秋田市広面蓮沼 44-2

電話 018-884-6299 FAX 018-834-8619

-----以上